

美しい森お薦め国有林

然別自然休養林

十勝西部森林管理署 東大雪支署

【概要】

然別自然休養林は、鹿追町、土幌町、上土幌町の3町に跨がり、大雪山国立公園の南部に位置する然別湖を中心とする休養林です。エリア内には「然別火山群」と呼ばれる標高1,200m前後の山々と、かつて火山活動が川をせき止めて誕生した、標高810mと道内ではもっとも高い場所にある湖「然別湖」があります。

最終氷期と呼ばれる今より寒い時代に誕生した火山群には、岩のゴロゴロとした斜面が広がり、その周囲には夏でも冷たい風を吹き出す穴「風穴(ふうけつ)」と、地下には年中凍り続ける永久凍土の存在が確認されています。

エリア内には、このほか、火山の恵みである温泉や、今まさに形成されつつある三角州、道内三大秘湖として知られる「東雲湖(しのめこ)」など、この地ならではの地形や景観が広がっており、様々なCMやドラマの撮影などにも使われています。

【地名の由来】

北海道の地名の多くはアイヌ語に由来しており、その多くは、土地の地形の特徴や産物などを表します。

(語源には諸説があります)
鹿追町：アイヌ語で「クテクウシ」(鹿捕り柵のあるもの)
土幌町・上土幌町：アイヌ語で「シユウウオロ」(鍋を水に浸したところ)

【楽しみ方】

●登山：周辺の山は登山口から頂上までの標高差が400m前後。登山道の状態は様々ですが、比較的歩きやすく、短時間で登ることができ、自然観察をしながらゆっくり登りたい方や、登山初心者の方にもオススメです。



然別湖と周辺の山々

●カヌー・カヤック・ガイドツアー(有料)が実施されており、初心者の方でも安全に楽しむことができます。
●遊覧船：一周約40分かけて然別湖を回ります。モーターボートやナイトクルーズやナイトクルーズも人気です。

ルーズもお勧めです。(要予約)。他にも、ガイドツアー、キャンプ、釣り(期間限定)、足湯など様々な楽しみ方があります。



雪と氷で作られた村 然別湖コタン

【気候性と植生・野生生物】

冬はマイナス30度以下、夏でも5度近くまで下がることがあります。周りを囲む原生林には日本最古の永久凍土が作り出す特殊な自然環境があります。

また、「然別湖」は大雪山国立公園内で唯一の自然湖です。

そこには湖が陸封されたことで独自の進化を遂げた、世界にはここしかないオシロココマ(ミヤバイワナ)が生息しています。

周辺に広がる森には、エゾナキウサギなど貴重な動物が多数生息し、また、日本蘇苔学会により「日本の貴重なコケの森」にも

選ばれています。

【アクセス】

●公共交通機関の場合

- とち帯広空港↓JR帯広駅(バス約2時間30分)
- JR札幌駅↓JR帯広駅(約2時間30分)
- JR帯広駅バスターミナル

↓然別湖畔温泉

(バス約1時間40分)

●JR札幌駅↓JR新得駅から(バス約1時間20分)

↓然別湖畔温泉

●車の場合

●道東自動車道 新千歳空港

↓十勝清水IC↓然別湖(約180km、約2時間40分)

●旭川空港↓然別湖(約180km、約2時間40分)

●帯広・広尾自動車道、道東自動車道 とち帯広空港↓芽室IC↓然別湖(約90km、約1時間30分)

●JR札幌駅↓然別湖(約220km、約3時間20分)



エゾナキウサギ